

経営比較分析表（平成30年度決算）

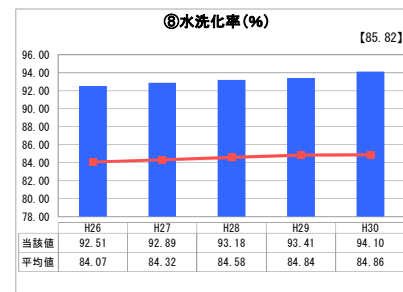
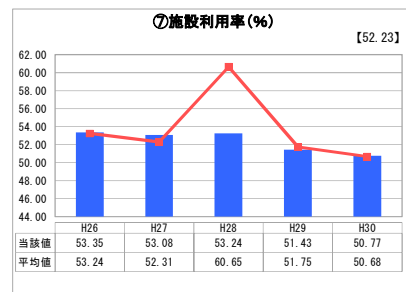
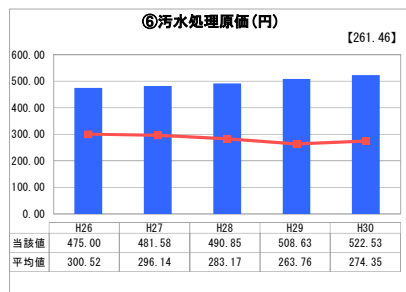
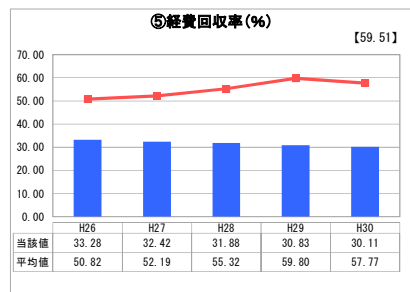
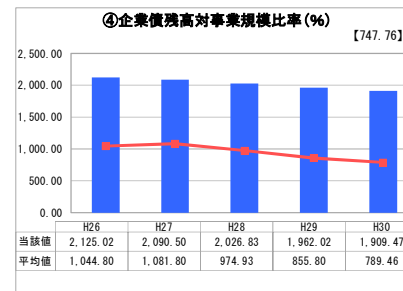
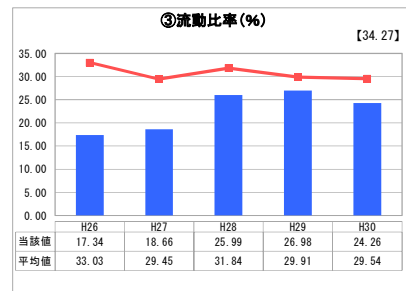
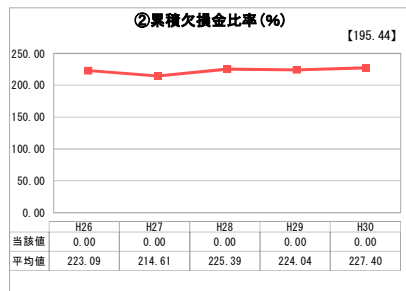
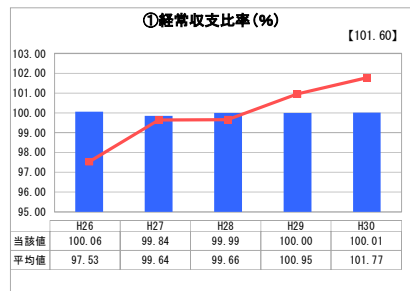
岡山県 岡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	38.19	1.03	97.20	2,957

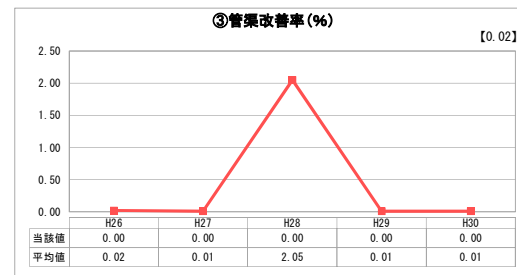
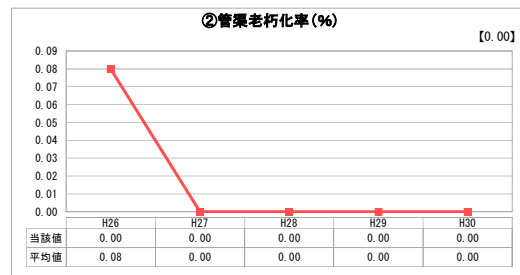
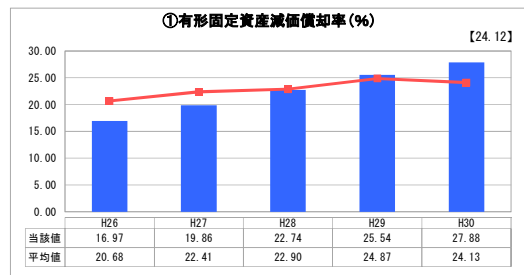
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
709,241	789.95	897.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,321	2.34	3,128.63

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業については、整備が終了しており、水洗化率は高い。
 処理施設が点在しており、経営効率は特定環境保全公共下水道事業よりもさらに悪い。
 各指標の特徴としては以下のとおり
 ①一般会計繰入金により赤字相当額を補ってしており、100%程度となっている。
 ②一般会計繰入金により赤字相当額を補ってしており、欠損金は生じていない。
 ③整備が終了しており、経費に占める償還元金の割合も減少してきているため、年々、改善傾向にある。
 ④類似団体と比べ処理施設数が多いこと等により、高水準となっているが、確実に減少している。
 ⑤使用料対象としている額に対し、100%は賸っていない。
 ⑥資本費が高いこと(④)等により、高い水準にある。
 ⑦類似団体平均程度。処理区域内人口の減少等により年々減少傾向にある。
 ⑧整備が終了していることから、高い水準にある。

2. 老朽化の状況について

類似団体間での比較では、本格的な整備時期が平成一桁以降と遅い上に、償却年数の短い設備が多い処理場が多いことから、近年、老朽化の指標のうち、有形固定資産減価償却率が類似団体平均を上回っている。(本市は平成22年度より地方公営企業法を適用しており、①有形固定資産減価償却率(%)は法適用以降の減価償却累計で算出されるため、その点に留意する必要がある。)
 ただし、将来的には多額の更新需要が見込まれることから、長寿命化や改築更新費用の平準化を計画的に進める必要がある。

全体総括

持続可能な下水道事業の運営を図るため、H27年度に策定した経営戦略(岡山市下水道事業経営計画2016)の中で目標数値を定め、PDCAサイクルにより経営改善を図ることとしている。
 具体的には、接続促進による使用料収入の確保、施設の統廃合や施設管理の効率化等による支出の削減等により、経営改善を進めることとしている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。